



同窓会報

2016 年 7 月 < 年 1 回発行 >

発行

県立尼崎中学・高等学校 同窓会

発行責任者

同窓会長 石井 良昌



昭和 44 年当時の正門

「県尼の発展と教育事業を

支援して」



同窓会会長

石井 良昌

(36 回生)

最近の県尼の教育課程の内容が大きく変わりました。第 1・2 学年では、基礎・基本の徹底を図るベーシック授業を展開するスタンダードクラスと、基礎・基本はもとより、さらに発展的な内容を重視し、より学力向上をめざすアドバンストクラスを設けています。

同時に、第 2 学年からは総合文科系と自然科学系に分かれて進路実現を図っています。

なかでも特色ある学校づくりの一環として、平成 20 年度より特色選抜を実施し、教育総合類型を設け「県尼発、先生への道」に取り組み、将来教職をめざす者を対象に広く人材育成に努め、その後、平成 26 年度より教育総合類型から「教育と絆コース」に改編されました。この「県尼発、先生への道」のキャッチフレーズはそのままに、教師を志す

高校生には、今まで以上に人と人との絆を大切にしてほしい、というメッセージが込められた新しいコースとなっております。なお、昨春から学区が拡大し、市内全域からも市外からも受検することができるようになりました。

こういった目覚ましい飛躍発展を遂げることが出来たのは、諸先輩をはじめ学校当局、特に辻井嘉介校長を中心とする熱意あふれる諸先生方、また本校を愛し、勉学に部活に懸命に励んだ生徒の皆さんと、関係者全ての熱意と愛情の結集の賜物だと確信いたしております。

ところで、昨年夏に私は PTA の皆さんの懇親会に呼ばれました。その時にそこにおられたお母さんたちの多くの方が、県尼のトイレを何とかウォームレット、ウォッシュレットに出来ませんか。とおっしゃいました。そんな状態になっているとは知らず、驚きましたが、同窓会の皆さんに相談し、すぐやることに決議し、この 1 月からウォームレット、ウォッシュレットが使えるようになりました。このことで学校の設備環境がよくなり大変よかったです。今後はこの設備をきれいに使い、維持管理に力を入れてほしいと思います。今後とも同窓会会員一同、県尼の発展と教育事業の支援に尽力していきたいと考えております。皆さまのご高配とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「県尼を飛躍させる」



校長

辻井 嘉介

県立尼崎高等学校の29代校長として着任しました辻井嘉介(つじいよしすけ)と申します。

日頃より同窓会員の皆様には、本校に対しまして、格別なご支援を賜っておりますことを深く感謝申し上げます。

創立から90年を超える歴史と伝統を誇る県立尼崎高等学校は、「自主・根性・聡明」の校訓のもと、幅広い教養を持った有為なる人材の育成とよき校風づくりに努め、躍進を続けてきました。卒業生は三万二千人に及び、各界で活躍する多くの人材を輩出してきました。旧制中学校を前身とする県下の高等学校はどこも、共通した風格を備えているように感じています。それは、地域の拠点校・伝統校であることの矜持を有しているということです。そして「文武両道」の精神です。尼高応援歌「名門」の歌詞にある『名門誇る尼高の真価を示す時こそ来たれ』と、同窓会員の皆様は、その時を待ち望んでおられることでしょうか。そうした熱い期待に応えられるよう、県尼を躍動させていきたいと考えています。

さる4月8日、春爛漫のよき日に平成28年度入学式を挙行し、71回生317名の生徒諸君を迎え入れました。私は式辞の中で、脳の一部「脳幹」について触れました。辛いこと、苦しいことに直面しても、よく耐えて我慢する経験を積むと、「脳幹」は太さが太くなり、その後、困難・苦難に出会っても、それを乗り越えていく力を与えてくれるのだそうです。言い

換えると、人はよく鍛える・よく鍛えられることを通して、脳幹を太くすることができるとです。ですから、あらゆる機会をとらえて、県尼生の学力・体力・こころをよく鍛えていきたい。脳幹の太い、たくましい、こころ豊かな人づくりをすすめていきたいと決意を述べ、新入生にエールを送りました。

県立尼崎高等学校は、この10年あまり、「県尼ルネサンス」の名のもと学校改革を推進してきました。平成20年度には、「県尼発、教師への道」をキャッチフレーズに「教育総合類型」を導入し、平成26年度より「教育と絆コース」へと改編されました。この間、県教育委員会の学力向上プロジェクト校の研究指定を受けて、学力向上を基盤にして、総合的な人間形成を図ることを目指して取組みを進めてきました。県

尼教育の新たな一步を象徴する「教育と絆コース」は、「県尼ルネサンス」以来の、生徒指導や授業改善、職場実習など様々な取組みを通じて学校の立て直しを図ってきた学校改革をさらに推し進める役割が期待されています。

こうした流れ・勢いを途切れさせることなく、後退させることなく、そして、これまで築き上げられてきた伝統を礎にして、「新たな県尼の創造」を目指していきたいと思えます。

最後に、同窓会ならびに同窓会員の皆様には益々のご発展をお祈り申し上げるとともに、本校に対しまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



県立尼崎中学校

トップクラスの進学校だった

市制施行後、尼崎市では財政が悪化し、教育費も増大していた。その主な理由は、義務教育年限の延長や就学率の向上、人口増に伴う学齢児童数増加である。このため、時間をずらして授業を行う二部授業を余儀なくされていた。そこで、尼崎市は校舎の増改築を進めることになった。

同時にこの時期には、中等学校進学希望者も増加し、中等教育機関の拡充も重要な課題となった。そこで、市民や企業からの寄付も受け、1923(大

100年前の教育とは

正12年に中学校を開校。1930(昭和5)年には県に移管され、県立尼崎中学校となった。この中学校は、現在の県立尼崎高等学校であるが、当時は、阪神間初の鉄筋造であったことや、戦前は「東の尼中、西の神戸一中」といわれるほどの名門校であり、戦後、暫くトップクラスの進学校でもあった。

このことから、尼崎市は財政難のなかにおいても、教育においては名実ともに阪神間を先駆けていた面があったことがうかがえる。

(出典：尼崎市制100周年新聞 2016年2月発行)



特別寄稿

「県尼同窓会創立93年を
迎えて」同窓会 名誉会長
中馬 勇

我が母校県尼が創立されて93年、間もなく100年を迎えようとしています。同時に尼崎市が本年100周年を迎えます。

尼崎市は1916年（大正5年）4月1日に市制が施行されました。それに遅れること7年1923年（大正12年）4月9日市民の熱烈な希求により尼崎市立中学校が開校いたしました。1930年（昭和5年）4月1日兵庫県立尼崎中学校として移管、改称されました。

市民の熱烈な後援があり有識者の支援等があり歴代校長、教職員の方たちの努力でしっかり成長してまいりました。私事ですが私の叔父、兄弟、従兄弟等たくさんのお世話になりました。

戦前戦後の厳しい時代を経て戦後男女共学、学制変更で1948年（昭和23年）4月1日兵庫県立尼崎高等学校に変換、同年7月1日新学区制が引かれ男女共学が始まりました。以来今日まで続いているのであります。

その間戦争、災害などいろいろ至難の時もありました。綱領は質実剛健、忠信篤敬、自律創造というものでありました。戦後は校訓が、自主、根性、聡明と変わりました。いずれにしても在校生はこの綱領、校訓を大切に教育を受け本校を巣立

ってまいりました。社会に出ても日常的に身に付けてまいりました。

社会的に名を成し校名を高めた方も数多くあります。その卒業生の数は実に3万2千人に及ぼうとしております。各界に活動をしておられます。

尼崎市も市制施行以前より諸種の産業に文化に秀でた業績を残した方々がおられました。文学に秀でた方たち、体育会に名を成した方たち、特に武道に秀でた方たち、政治の世界にも秀でた方たちがおられました。

近代においても産業界に、文化界に名を成した方たちが大勢いらっしゃいました。そしてお互いに益々成長して社会のために有用な立場を高めていくことを祈念いたしております。



～お知らせ～

おめでとうございます

●平成27年 秋の叙勲●

旭日双光章

柄谷 順一郎氏(28 回生)

建設業振興功勞



県尼生の逞しい活躍

資料提供：楠田教頭先生

「教育と絆コース」

地域と密着した体験学習

平成26年度に開設の県内公立高校では、唯一の教育コース「教育と絆コース」がいよいよ3年目を迎えます。3年生全員が総まとめとして、

- ・小学6年生に対し模擬授業実施。
- ・保育所での保育実習。
- ・手話指導者を招聘し、多様なコミュニケーション方法の学習。

など、教育者への道を志す生徒たちが、地域と密着して体験活動を展開。逞しい成長が期待されています。



美術部 尼崎城プロジェクト

市役所本庁舎南壁に掲示

美術部が、尼崎市制百周年プレイベントとして尼崎城実物大絵画(縦18m 横16m 原寸大の布絵)を尼崎市役所中館の南壁に掲示しました。

テレビ局・新聞社など報道各社が取り上げ話題になりました。(H27・10・8)

これは、本年市制百周年の記念事業の一つとして、築城4百年を迎える尼崎城に因み天守の布絵を共同制作し、昨年3月に完成、本校校舎や近隣の中学・小学校にも掲示するなど、広く公開、尼崎の歴史・魅力をアピールし注目されています。



男子ハンドボール部 近畿大会準々決勝進出

対戦成績

1 回戦 神戸北を43-11
2 回戦 長田を32-18
3 回戦 川西北陵を38-21
で下し準々決勝進出
準々決勝 神戸国際大付22-39で惜敗
応援有難うございました。
次に繋げて頑張ろう。



県民生の活躍

平成27年度の表彰

資料提供：高橋 剛先生

《運動部》

●剣道部

- 第 62 回 兵庫県高等学校剣道大会（高等学校の部）
男子団体戦 出場 女子団体戦 出場

●サッカー部

- 平成 27 年度 兵庫県総合体育大会 サッカー競技 3 回戦進出

●水泳部

- 平成 27 年度尼崎市民スポーツ祭水泳競技大会
50m 自由形 1 位 増田 祐稀
400m 自由形 1 位 横田 卓也
50m 平泳ぎ 1 位 前田 裕貴
200m リレー 1 位 盛 泰喜・横田 卓也・春日 将利・前田 健佑
200m M リレー 1 位 前田 健佑・増田祐稀・春日 将利・盛 泰喜



●卓球部

- 平成 27 年度尼崎市長旗杯卓球大会 男子団体 第 3 位

●男子ソフトテニス部

- 平成 27 年度兵庫県高等学校総合体育大会阪神支部予選
団体 第 3 位
個人 ベスト 8 濱野太雅・楠田翔ペア 県大会出場
- 平成 27 年度尼崎市高等学校市民スポーツ祭
第 3 位 濱野太雅・楠田翔ペア

●女子ソフトテニス部

- 平成 27 年度兵庫県高等学校新人大会阪神支部予選
団体 ベスト 8 県大会出場
個人 ベスト 16 清藤 佑香・清藤 利香ペア
成田 初香・森口 涼音ペア
山下 五十鈴・小西 杏実ペア 県大会出場
敗者復活戦勝ち抜け 鹿嶋 美来・加藤 穂乃佳ペア 県大会出場



●男子バスケットボール部

- 平成 27 年度 尼崎市高等学校新人バスケットボール大会 第 3 位
優秀選手賞 赤松 星耶

●女子バレーボール部

- 平成 27 年度 阪神地区春季リーグ戦 3 部昇格

●野球部

- 秋季高等学校野球地区大会 第 3 代表で県大会出場

●陸上競技部

- 第 57 回尼崎市陸上競技選手権大会
男子やり投 8 位 43m11 作本 智史
女子 1500m 4 位 5分25秒67 渡 蒼天

●男子バドミントン部

- 平成 27 年度総体阪神地区予選団体…3 回戦進出
個人戦ダブルス…木口屋・渡辺組 準優勝 県大会出場
個人戦シングルス…木口屋 3 位、渡辺 7 位 県大会出場
- 県大会
個人戦ダブルス…3 回戦進出 ベスト 16
- 尼崎バドミントン協会主催試合
第 52 回 協会会長杯バドミントン大会団体戦…2 部 3 位

●女子バドミントン部

- 尼崎バドミントン協会主催試合
第 52 回 協会会長杯バドミントン大会団体戦…2 部 3 位
第 65 回 市民スポーツ祭バドミントン大会団体…3 部 2 位

●男子ハンドボール部

- 平成 27 年度 兵庫県総合体育大会 第 5 位(兵庫県第 5 代表獲得)
- 平成 27 年度 兵庫県高等学校体育連盟ハンドボール部優秀選手
3 年 8 組 山内 健太郎
3 年 3 組 田原迫 克典

●女子ハンドボール部

- 平成 27 年度 阪神地区春季リーグ戦 2 部 1 位

《文化部》

●軽音楽部

- 第 36 回高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト
We are Sneaker Ages 予選
- 第 39 回兵庫県高等学校総合文化祭文化部合同発表会
軽音楽部門選考会

●演劇部

- 兵庫県高等学校演劇研究会阪神支部発表会優良賞
- 兵庫県高等学校演劇研究会中央合同発表会（県大会）優良賞

●書道部

- 書道部
第 39 回兵庫県高等学校総合文化祭（書道部門）
出品者
選抜賞・西村 美寿々（2 年）、特選・西川 日菜（2 年）
入選・澤 優花（1 年）、藤井 佑香（1 年）、奥山 愛音（1 年）

●吹奏楽部

- 第 38 回兵庫県吹奏楽コンクール東阪神地区大会
高等学校 A 部門 出場
- 兵庫県アンサンブルコンテスト
フルート三重奏 銀賞受賞
クラリネット五重奏 銀賞受賞
サクソ四重奏 銀賞受賞
金管八重奏 銀賞受賞



●美術部

- 平成 27 年度明るい選挙啓発ポスター（尼崎市）
特選 古賀 千晶（2 年）、
自衛官募集ポスターコンクール
優秀賞 谷脇 奈那美（3 年）
- 歴史の旅 in 尼崎マンガ展
最優秀賞 谷脇 奈那美（3 年）、優秀賞 森岡 瑠璃（3 年）

●放送部

- 第 62 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会
第 1 地区 予選ラジオドキュメント部門佳作



平成 27 年度決算報告と 平成 28 年度予算

兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会 平成27年度 収支決算報告

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

| (収支決算) | | (単位:円) |
|-----------|-----------|-----------|
| 収 入 | 支 出 | 差引残高 |
| 7,683,842 | 3,903,259 | 3,780,583 |

| (収入) | | (単位:円) | |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 科 目 | 収入済額 | 前年度予算額 | 比較増減 |
| 前年度繰越金 | 5,981,710 | 5,981,710 | 0 |
| 会 費 収 入 | 1,701,000 | 1,657,800 | 43,200 |
| 預 金 利 息 | 1,132 | 1,000 | 132 |
| 寄 付 金 | 0 | 1,000 | △ 1,000 |
| C D 売 上 金 | 0 | 1,000 | △ 1,000 |
| 雑 収 入 | 0 | 1,000 | △ 1,000 |
| 合 計 | 7,683,842 | 7,643,510 | 40,332 |

| (支出) | | (単位:円) | |
|-----------------------|-----------|-----------|-------------|
| 科 目 | 支出済額 | 前年度予算額 | 比較増減 |
| 事 務 費 | 24,872 | 100,000 | △ 75,128 |
| 会 費 払 戻 入 | 43,200 | 0 | 43,200 |
| 転退職記念費 | 0 | 60,000 | △ 60,000 |
| クラブ振興費 | 0 | 250,000 | △ 250,000 |
| 文 化 振 興 費 | 0 | 50,000 | △ 50,000 |
| 入 学 ・ 卒 業 記 念 品 | 802,547 | 600,000 | 202,547 |
| 慶 弔 費 | 0 | 50,000 | △ 50,000 |
| 会 報 発 行 費 | 118,800 | 130,000 | △ 11,200 |
| 予 備 費 (ウオッシュレット寄贈) | 2,913,840 | 6,403,510 | △ 3,489,670 |
| 合 計 | 3,903,259 | 7,643,510 | △ 3,740,251 |

平成28年4月11日に上記決算報告について公正に監査した結果、正しく執行されていることを認めました。

監査委員 池辺 善夫
監査委員 山中 潤一



兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会 平成28年度 普通会計予算

| (収入) | | (単位:円) | | |
|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 備 考 |
| 前年度繰越金 | 3,780,583 | 5,981,710 | △ 2,201,127 | |
| 会 費 収 入 | 1,625,400 | 1,657,800 | △ 32,400 | 301×5,400 |
| 預 金 利 息 | 1,000 | 1,000 | 0 | 単価計上 |
| 寄 付 金 | 1,000 | 1,000 | 0 | 単価計上 |
| C D 売 上 金 | 1,000 | 1,000 | 0 | 単価計上 |
| 雑 収 入 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 合 計 | 5,409,983 | 7,643,510 | △ 2,233,527 | |

| (支出) | | (単位:円) | | |
|-----------------|-----------|-----------|-------------|--------|
| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 備 考 |
| 事 務 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 転退職記念費 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| クラブ振興費 | 250,000 | 250,000 | 0 | |
| 文 化 振 興 費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 入 学 ・ 卒 業 記 念 品 | 200,000 | 600,000 | △ 400,000 | 記念品購入費 |
| 慶 弔 費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 会 報 発 行 費 | 130,000 | 130,000 | 0 | |
| 予 備 費 | 4,569,983 | 6,403,510 | △ 1,833,527 | |
| 合 計 | 5,409,983 | 7,643,510 | △ 2,233,527 | |

平成 28 年度同窓会事業

〔主な事業項目〕

1. 学校行事への参加
 - ・入学式
 - ・体育大会
 - ・県尼祭
 - ・コンサート
 - ・卒業式
 - ・その他課外活動の支援など
2. 役員会・常任委員会の適宜開催
3. 創立 9 5 周年記念事業企画推進
4. 同窓会会報の発行



同期会便り

恒例の同期会開催

田村 信子(35回生)

去る平成28年3月7日、ホテルニューアルカイックのアゼリアに三々五々参集し、嬉しいひと時を持ちました。

これはもう毎年の恒例行事となっています。

今年はすこし少なく約60名の参加で、遠くは千葉、福岡などからの参加者もいてクラスをまたいだ交流の場となっています。

当日の記録は、毎年写真の上手なMさんのお力をお借りして撮影から編集までをやってもらい、それをNさんがHPにアップ、皆の共有するところ となっています。添付の写真は当日の様子です。

次年度は、卒業55周年を迎えることから、大々的な記念同窓会を企画しています。開催予定は次の通りです。

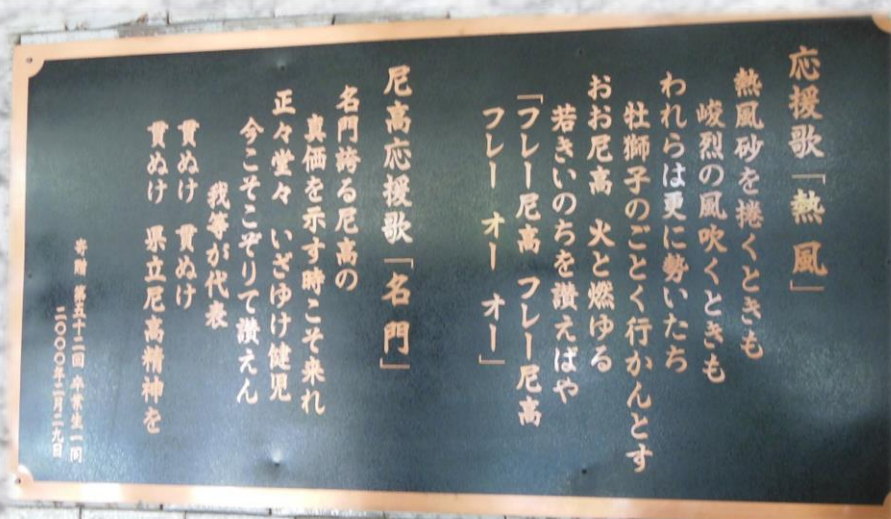
- ・日時 平成29年3月7日
- ・場所 ホテルニューアルカイック
- ・会費 80000円の予定

毎年ではなく5年毎に期する方もおいでになることから、幹事一同準備を整え始めたところです。

多数のご参加をお待ちしています。



県尼第52回卒業生一同により応援歌「熱風」「名門」の歌詞のパネルを寄贈されております。
県尼事務所の横に掲示しています。



同窓会 母校に温水洗浄便座(ウォッシュレット) 寄贈!!

このたび生徒の皆様の学校生活環境作りに貢献するため、同窓会は、生徒の皆様にも少しでも快適に用便を足して頂こうと、母校の洋式トイレに温水の洗浄便座(ウォッシュレット)を27台寄贈致しました。

末永く、美しく、誰もが気持ち良く、使用して頂くため、清掃・管理をよろしくお願い致します。

昔から人間は環境の動物と呼ばれ、環境に大きく影響を受けます。また、人間生活の基本は、衣・食・住と言われます。そして快食・快眠・快便(3快)は、人の健康を測るバロメーターと言われています。

トイレ環境が良くなることで、生徒の皆様の学習環境に少しでも良い影響を及ぼし、爽やかな学校生活の一助にならんことを、切に願っています。

(記：大西俊樹)



兵庫県立尼崎高等学校同窓会役員名簿

| | | | | | |
|------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 名誉会長 | 中馬 勇 | (18回生) | 常任理事 | 野口 富也 | (39回生) |
| 会長 | 石井 良昌 | (36回生) | 常任理事 | 久保 恭利 | (39回生) |
| 副会長 | 大附 多美子 | (23回生) | 常任理事 | 石井 生滋 | (42回生) |
| 副会長 | 高岡 久 | (31回生) | 常任理事 | 大西 俊樹 | (42回生) |
| 監査 | 池辺 善夫 | (36回生) | 常任理事 | 井上 正夫 | (42回生) |
| 監査 | 山中 潤一 | (51回生) | 常任理事 | 上野 晃司 | (43回生) |
| 理事長 | 柴田 侃一 | (36回生) | 常任理事 | 前田 雅孝 | (45回生) |
| 常任理事 | 吉竹 昌之 | (19回生) | 常任理事 | 奥村 純一 | (45回生) |
| 常任理事 | 合田 正人 | (定8回生) | 常任理事 | 津田 加寿男 | (47回生) |
| 常任理事 | 池辺 孝義 | (21回生) | 常任理事 | 黒川 治 | (51回生) |
| 常任理事 | 中川 敏行 | (32回生) | 常任理事 | 丸岡 鉄也 | (51回生) |
| 常任理事 | 北村 保子 | (33回生) | 常任理事* | 近藤 教敏 | (61回生) |
| 常任理事 | 杉浦 誠一 | (34回生) | 常任理事* | 佐川 昌伸 | (71回生) |
| 常任理事 | 比嘉 芳子 | (定13回生) | 会計 | 津川 圭司 | (36回生) |
| 常任理事 | 田村 信子 | (35回生) | 会計 | 下境 田耕治 | (57回生) |
| 常任理事 | 坂田 清則 | (36回生) | 顧問・学校長* | 辻井 嘉介 | |
| 常任理事 | 吉福 末吉 | (38回生) | 相談役・教頭 | 楠田 俊夫 | |
| 常任理事 | 清水 紀美江 | (39回生) | 相談役・事務長 | 篠原 尚子 | |
| | | | 校内理事 | 高橋 剛 | (62回生) |

(*印は新任)

編集後記

今年は尼崎市制百周年を迎えます。そして県尼も創立93年目となり、尼崎市と共に歩んできた伝統校であります。この周年に因んで、中馬勇(18回生)大先輩に特別寄稿を頂きました。在校生はもとより、近年の卒業生も知らない県尼の歴史を詳しく紐解いて頂きました。誠に有為な内容で感銘を覚えます。

大正・昭和・平成と三代にわたり積み上げられた伝統、そして私たち県尼の綱領・校訓をこころに巣立った卒業生であることを再認識させられます。

次に、現在の県尼も、教育改革の取組みのひとつの「教育と絆コース」が3年目に入り仕上げる年度です。愈々一期生が巣立ちます。

そして、体験学習や尼崎城プロジェクト等々、外に向かって発信をするなど、遅く活発に展開しています。

この度着任の辻井校長はじめ先生方の指導力発揮により、益々の飛躍・発展が期待されます。

古くは阪神間で、東の尼中、西の神戸一中、と云われた名門校復活を願い、近く百周年を迎える県尼を、OB一同応援して行くではありませんか。

本紙に、「同期会便り」の欄を設けました。

皆様からの楽しい原稿を寄せて頂きますようお願いしています。

(編集委員一同)

印刷

有限会社 アイプリント

尼崎市西難波町四丁目二の九

(06)64828484